

# 学校推薦型選抜(公募制)

## 出願資格

次の各項全てに該当する者。

- 高等学校もしくは中等教育学校を2020年3月に卒業した者および2021年3月に卒業見込みの者。
- 本学の教育課程を修めるに十分であると学校長が認め推薦した者。

## 入試日程

学部・学科	試験日・試験時間	出願期間	合格発表
全学部・全学科	11月25日(水) 午前 午後	WEB出願 11月2日(月)～11月10日(火)	12月7日(月)
	11月26日(木) 午前 午後		
	11月27日(金) 午前 午後		

○1回(午前または午後)の試験で出願できるのは1学科のみです。

- Point!**
- 試験日・時間は自由選択制です。
  - 1日に午前・午後の2回の受験チャンス!  
午前と午後で同じ学科へも、異なる学科へも出願可能。
  - 最大6回の受験チャンスがあります。

## 試験会場

試験日・試験時間	京都(本学)	福井	名古屋	彦根	舞鶴	大阪	神戸	奈良	和歌山	岡山
11月25日(水)	午前	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	午後	●	●	●	●	●	●	●	●	●
11月26日(木)	午前	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	午後	●	●	●	●	●	●	●	●	●
11月27日(金)	午前	●	—	—	●	—	—	—	—	—
	午後	●	—	—	●	—	—	—	—	—

**Point!**

- 全国10都市に設置します。
- 都合に合わせて会場・日時を選択可能。午前・午後で2学科受験など、宿泊費の軽減や時間の有効活用も可能です。

## 試験科目・配点・解答時間

学部	学科	試験科目/配点	解答時間
仏教学部	仏教学科	基礎能力試験	80分
文学部	日本文学科 中国学科 英米学科	英語 + 選択 国語、数学から1科目	
		100点 + 100点 = 200点満点	
歴史学部	歴史学科 歴史文化学科	基礎能力試験	
教育学部	教育学科 臨床心理学科	基礎能力試験	
社会学部	現代社会学科 公共政策学科	基礎能力試験	
社会福祉学部	社会福祉学科	基礎能力試験	
保健医療技術学部	理学療法学科 作業療法学科 看護学科	基礎能力試験	

○全問マークセンス方式。[英語]と[選択(国語、数学から1科目)]の2科目を80分間で解答します。  
○学部・学科が異なる場合でも、試験時間ごとの試験問題は同一内容です。

◆[英語]は[コミュニケーション英語I・コミュニケーション英語II・英語表現I(リスニングは実施しません)] ◆[国語]は[国語総合(古文、漢文除く)] ◆[数学]は[数学I・数学A]

## 合格者判定方法

- 全員が「2科目型(基礎評価方式)」で受験。希望者は「総合評価方式」も追加できます。※「総合評価方式」のみでの受験はできません。
- 「2科目型(総合評価方式)」は、各学科とも出願時における「2科目型(基礎評価方式)」の志願者数と「総合評価方式」を追加した志願者数の比率に、得点状況を考慮し合格者数を配分します。
- ※試験日・試験時間(午前・午後)ごとの定員は設けていません。
- ※基礎評価方式、総合評価方式ともに1回に受験する2科目の合計得点と評定点で判定します。試験日・試験時間(午前・午後)をまたいだ高得点科目での判定ではありません。

### 「2科目型(基礎評価方式)」は2科目200点満点で判定します

### 2科目の合計得点で判定

「英語」「選択」2科目の合計200点満点で判定します。



〈例〉

試験日・時間	英語	選択	合計
11月25日(水) 午前	70点	国語 70点	140点

**Point!**

全学部・全学科ともマーク式、基礎能力試験なので「基礎評価方式」のみでもチャンスは十分。

### 「総合評価方式」の判定方法もプラスできます

### 高等学校の成績を活かせる判定

- 基礎評価方式にプラスして利用できる判定方法です。
- 2科目合計200点+評定点100点の計300点満点で判定します。



〈例〉

全体の評定平均値	英語	選択	評定点	合計
3.0の場合	70点	国語 70点	60点	200点
4.0の場合			80点	220点
5.0の場合			100点	240点

**Point!**

高等学校での成績を活かせる「総合評価方式」を追加すればさらに合格のチャンスが高まります。

## 併願について

- 複数学科の併願、他大学との併願も自由です。
- 試験日・試験時間(午前・午後)をかえて同一学科、異なる学科の併願もできます。
- ※1回(午前または午後)の試験で出願できるのは1学科のみです。

**Point!**

2つの判定方法を併用すれば最大12回の判定を受けることができます。

**Check!**

### 複数回受験のメリット

「学校推薦型選抜(公募制)」では、同じ学科を複数回受験することも、異なる複数の学科を併願することも可能です。  
複数の受験チャンスを得られることで、1回だけの受験に比べて気持ちの余裕が生まれたり、試験の緊張感に慣れることで、**受験者の方が本来の実力を発揮しやすい**受験環境が整うというメリットがあります。  
また、学科ごとに競争率や合格最低点が異なることから、難易度の異なる他学科への併願をうまく組み合わせることで**合格の可能性をさらに高める**ことができます。

## 入学試験検定料

- 1回目(午前または午後)の受験は35,000円。
- 2回目からは30,000円を加算します。
- 同じ試験時間で判定方法を併用する場合には10,000円を加算します。

### 一般入試対策がそのまま使えます

「学校推薦型選抜(公募制)」は基礎能力試験。また、試験科目や出題傾向は「一般選抜」入試とほぼ同じなので、「**一般選抜**」入試の対策を行って**特別な対策は不要**です。  
大学が発行する過去問題集(無料)などを活用して十分な対策を行うことで、合格への可能性を高めることができます。  
※過去問題集は本学WEBサイトから請求いただけます。